

令和 3年度（2年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	総務局
	政策	参画・協働によるコミュニティの再生		課(室)名	広聴広報課
	施策	参画・協働の推進		電話番号	087-839-2111
	基本事業	広聴・広報機能の充実		事業実施主体	市
	事務事業	市民相談事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	文書や電話・来訪等で寄せられる市民の意見・相談・苦情・要望など、広聴広報課市民相談コーナー（市役所1階）で受け付けるもので、問題の内容によって関係機関と検討の上、早期解決に努めている。相談業務としては、市政相談、一般相談、専門相談を、広聴業務としては、市長への提言、市政出前ふれあいトーク、市長まちかどトーク事業などを実施している。
-------	--

3年度概要	○市政相談、一般相談、専門相談（弁護士法律相談等）等相談業務 ・弁護士法律相談は年間96回実施予定、司法書士法律相談は年間22回実施予定としている。 ○市長への提言、市政出前ふれあいトーク、市長まちかどトーク等広聴業務 ・市政出前ふれあいトークは151のテーマの中から選択でき、市長まちかどトークは年間10回程度予定している。市長への提言等は常時受け付けている。	
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型

【事業の目的】

対象（何を）	市民及び周辺住民
意図（どのような状態にしたいか）	相談業務を通して、市政に対する意見・苦情を始め、住民が抱えている疑問や問題解決へ向けた相談に応じる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H30	H31	R2	R3	中期目標 R4
法律相談の稼働率	%	93	90	86		90

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H30	H31	R2	R3	中期目標 R4
法律相談利用者の満足度	%	目標値	85	85	85		85
		実績値	76	76	76		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 令和2年度法律相談アンケートの回答では、「満足」「やや満足」は76%となり、前年度に比べ、2ポイント減少した。一方で、「不満」「やや不満」は5%となり、1ポイント減少、「普通」は10%で、前年度と同じ結果となった。全体の満足度としては、前年度並みとなった。		(目標達成度)					(達成度) 89.4% 31点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H30	H31	R2	R3	中期目標 R4
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）		(目標達成度)					(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（予算）
トータルコスト	[千円]	34,145	34,326	33,597	37,112
（事業費）	[千円]	8,434	8,527	8,158	11,673
（職員人件費）	[千円]	25,711	25,799	25,439	25,439

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

市民サービスの向上や本市施策への反映のため、市長への提言や市政出前ふれあいトークを実施したほか、昨年10月よりマイシティレポートの運用を開始し、市民からの要望についての投稿を受け付けている。また、日常生活における様々な問題・悩みを解決するため、法律相談を始め、各種専門相談を実施しており、相談事業を利用する市民は年々増加している。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

市民の声を市政に反映し、市民サービスの向上を図るとともに、日常生活における様々な問題を解決するため、各種相談事業を実施している。また、市民満足度の向上と市民の市政参画の推進を図るため、今後とも、より相談体制の充実に努めながら継続して事業を実施する。

令和 3年度（2年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	総務局
	政策	参画・協働によるコミュニティの再生		課(室)名	広聴広報課
	施策	参画・協働の推進		電話番号	087-839-2161
	基本事業	広聴・広報機能の充実		事業実施主体	市
	事務事業	テレビ放送等広報事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	市政に対する関心と理解を深めるため、市政の重要施策や制度など市民生活に関わりの深い事業やイベント、ニュース、市民の多彩な活動の様子などを、市民にわかりやすく伝える番組を作成し、民放テレビやケーブルテレビ、FMラジオ放送などの広報媒体を活用して効果的に伝える。		
3年度概要	民放テレビ放送広報として、市政番組（3分）を12回、市政番組（15分）を3回、歴史番組（15分）を2回予定している。ケーブルテレビ広報番組は、月の前後半で一部内容を更新した30分の番組を毎日放送する。その他FMラジオ放送において、市政情報を放送する。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）


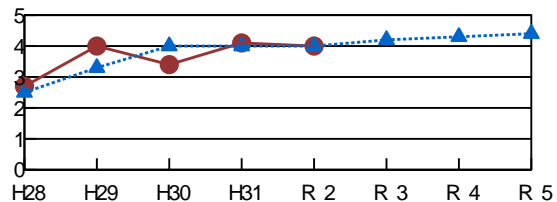

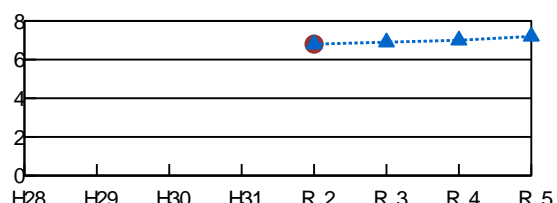
【事業の目的】

対象（何を）	市民及び周辺住民
意図（どのような状態にしたいか）	テレビ放送等を通じ、市政に対する情報を発信し、市民の理解を促進する。また、広く高松市の魅力を発信し、高松のイメージアップを図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H30	H31	R2	R3	中期目標 R4
民放テレビ広報番組制作数	本	17	17	16	19	20
CATV番組制作数	本			53	54	56

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H30	H31	R2	R3	中期目標 R4
民放テレビ広報番組視聴率【年平均】	%	目標値	4	4	4	4.2	4.4
		実績値	3.4	4.1	4		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 市政番組（15分）の視聴率が1.9%と伸び悩んだものの、市政番組（3分）が6.7%、歴史文化（15分）が3.4%と好調であったため、目標を達成できた。 		(目標達成度)					(達成度) 100.0% 35点
CATV市政広報番組視聴割合	%	目標値			6.8	6.9	7.2
		実績値			6.8		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 3年ごとに実施している広報アンケートにおいて、CATV市政情報番組を「よく見ている」「ときどき見ている」と回答した人の割合は、全体の68%であった。今後、幅広い年齢層の視聴者に番組を継続して視聴してもらえるよう内容の充実を図る。 		(目標達成度)					(達成度) 100.0% 35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（予算）
トータルコスト	[千円]	37,435	37,681	37,061	37,581
（事業費）	[千円]	20,042	20,229	19,852	20,372
（職員人件費）	[千円]	17,393	17,452	17,209	17,209

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性 （拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	----------	------------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

分かりやすい広報番組を目指し、民放・CATVにおいて、毎月広報番組を制作・放映した。民放番組の視聴率は平均で4%台であるが、YouTubeにもアップロードし、多くの人が視聴できる環境づくりに努めた。今後もインターネットを活用した動画広報の拡充を検討する。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

テレビやラジオなどは、市民に最も身近で効果的な広報媒体であり、市民生活に関わりの深い市政情報や本市の歴史・文化などを、映像等を利用して伝えることは、市民の市政に関する関心と理解の向上やシビックプライドの醸成に寄与するものであることから、事業の継続が必要である。

令和 3年度（2年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	総務局
	政策	参画・協働によるコミュニティの再生		課(室)名	広聴広報課
	施策	参画・協働の推進		電話番号	087-839-2161
	基本事業	広聴・広報機能の充実		事業実施主体	市
	事務事業	ホームページ等管理運営事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	本市の広報媒体の中で、速報性が高く、より広範囲に情報を発信できるホームページを通じて、本市の施策や取り組み、観光情報などの市政情報を、タイムリーに、かつ、広域に発信するとともに、民間ソーシャルメディアを活用した動画配信サイトを開設し、写真や文字だけでは伝えることができなかった情報を効果的に発信していく。		
3年度概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ運営事業 ・SNSによる情報発信（ツイッター、フェイスブック、マチマチによる市政情報の発信） ・インターネット動画広報事業（市長定例記者会見、市政広報番組（事業、イベント、歴史）について、定期的に配信を行うほか、観光やまちづくりの動画を随時配信する。） 		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象（何を）	本市ホームページ利用者
意図（どのような状態にしたいか）	市からの各事業のお知らせや地域の身近な情報を配信し、市民の市政への理解・協力を深めてもらうとともに、行政と市民との協働の強化、市政への参画を促す。また、本市の持つさまざまな魅力ある資源や情報を積極的に国内外へ発信し、高松市のPRを行う。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H30	H31	R2	R3	中期目標 R4
情報更新件数（新着件数/年）	件	4,505	4,376	6,927	1,500	1,500
インターネット広報動画配信件数	本			49	55	60

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H30	H31	R2	R3	中期目標 R4
インターネット広報動画再生件数	回	目標値			15,000	16,000	16,500
		実績値			15,946		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） できる限り柔軟かつ親しみやすい広報番組の制作に努めたほか、歴史・文化など、シビックプライドの醸成に資する内容の番組制作も行った。また、SNSで番組告知を行うなどPR活動に努めた。		(目標達成度)					(達成度) 106.3% 35点
成果指標名（どのような成果が得られたか） 市ホームページ（サイト全体）へのアクセス数	件	目標値		15,000,000	15,000,000	15,000,000	15,000,000
		実績値		14,675,519	27,491,395		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 新型コロナウイルス感染症に関する情報やコロナ関連情報、また、市長メッセージ等を適時適切に掲載したことで、ホームページ全体のアクセス数は、目標を大きく上回っている。		(目標達成度)					(達成度) 183.3% 35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（予算）
トータルコスト	[円]	18,758	15,467	18,841	15,864
（事業費）	[円]	9,684	6,361	9,863	6,886
（職員人件費）	[円]	9,074	9,106	8,978	8,978

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	----------	--------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

スマートフォンを始めとした情報通信機器の普及に伴い、インターネットを活用した情報発信の重要性は、ますます高まっている。R2年度は、生活に役立つ情報や新型コロナウイルス関連情報など、市民の関心が高い情報についてタイムリーに情報発信を行った。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

ホームページなどによる、インターネットを利用した情報発信は、速報性と広域性、また双方向性を持つ有効な広報媒体であり、本市の情報や魅力を発信できるものである。また、スマートフォンの普及に伴い、SNS等の利用者数が増加しており、これらの状況を踏まえ、今後、ICTを活用した新たな情報発信についても検討を進める。

令和 3年度 (2年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	総務局
	政策	参画・協働によるコミュニティの再生		課(室)名	広聴広報課
	施策	参画・協働の推進		電話番号	087-839-2161
	基本事業	広聴・広報機能の充実		事業実施主体	市
	事務事業	広報高松等発行事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	本市の制度や取組など、様々な市政情報を市民に分かりやすく提供することにより、市民生活の利便性を向上させるとともに、市政に対する関心と理解を深め、情報の共有化を進める。		
3年度概要	<ul style="list-style-type: none"> ・広報高松発行(毎月1日発行、年12回) ・点字等広報発行(毎月10日発行、年12回) ・声の広報発行(毎月1日発行、年12回) 		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	

【事業の目的】

対象(何を)	市内全世帯
意図(どのような状態にしたいか)	市民に対し、市の施策・事業の目的を始め、市民が利用できる行政サービスや参加できる行事などの情報を提供し、市政についての理解や協力を得るとともに、市民の市政(まちづくり)への積極的な参画を促す。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
広報高松発行部数	部	3,382,000	3,356,200	2,398,400	2,400,000	2,400,000
広報高松配布部数	部			2,332,098	2,358,000	

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
広報高松を読んでいる人の割合	%	目標値			70	70.5	71
		実績値			68.6		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 3年ごとに実施の「広報アンケート」において、「広報高松」を「全ページ読む」「必要な記事を読む」と答えた人の割合が68.6%となった。今後、より幅広い年齢層の市民に読んでもらえるような工夫を凝らした紙面づくりに努める。	(目標達成度)		(達成度) 98.0% 34点				
成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	(目標達成度)		(達成度)				

【コストの推移】

指標名	単位	平成 30年度(決算)	平成 31年度(決算)	令和 2年度(決算)	令和 3年度(予算)
トータルコスト	[円]	86,559	94,937	111,531	130,978
(事業費)	[円]	67,654	75,967	92,826	112,273
(職員人件費)	[円]	18,905	18,970	18,705	18,705

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

5月以降全戸配布へと移行し、毎月1回、市内全世帯に広報紙を届けた。また、手に取って読んでもらえるよう、紙面の内容充実に努めた。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

「みんなに伝わるやさしい広報紙」「高松(まち)をもっと好きになる広報紙」をコンセプトとして、令和2年5月に全面リニューアルした。広報高松は、地域への愛着を持ってもらうための重要な広報媒体であることから、全戸配布を継続するとともに、市民に情報を分かりやすく情報を伝えられるよう、今後も更なる紙面の充実に取り組む。

令和 3年度 (2年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	総務局
	政策	参画・協働によるコミュニティの再生		課(室)名	広聴広報課
	施策	参画・協働の推進		電話番号	087-839-2161
	基本事業	広聴・広報機能の充実		事業実施主体	市
	事務事業	吹奏楽団事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・楽団の演奏活動を通じて親しまれる市役所とともに、市民との協力関係の強化を目指す。 ・市民主体のまちづくりのために、地域のイベントや小学校への訪問演奏などを行い、音楽を通じて地域の活性化や一体感の醸成の一助とする。
-------	--

3年度概要	吹奏楽団事業 定期演奏会(年1回)をはじめ、市民の依頼や楽団企画による演奏会を実施する
-------	--

重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類
--------	----------	---------

【事業の目的】

対象(何を)	市民
意図(どのような状態にしたいか)	吹奏楽団の広報活動によって、親しまれる市役所を目指すとともに、市民の市政への理解を深め、市政への参画を促す。

【事業の活動】

活動指標名(具体的などのような活動をしたか)	単位	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
市民からの依頼や楽団企画に基づく演奏活動回数(年間)	回	25	23	4	20	35

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
	聴衆者数(参加者数)	人	目標値	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000
			実績値	14,470	9,820	300		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度) 2.1%
								0点
	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 30年度(決算)	平成 31年度(決算)	令和 2年度(決算)	令和 3年度(予算)
トータルコスト	[円]	6,164	6,196	4,362	6,004
(事業費)	[円]	2,383	2,402	621	2,263
(職員人件費)	[円]	3,781	3,794	3,741	3,741

【評価】

評価ランク (A~D)	D	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、定期演奏会のほか、地域のイベントなどの多くが中止となり、演奏機会が減少した。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

地域でのイベントや学校への訪問演奏などを通じ、市民との交流に努め、親しまれる市役所を目指すとともに、地域の活性化や一体感の醸成など、市政への理解や参画を推進するため、事業を継続して実施する。